

令和3年度（令和4年5月15日）

子ども会体験活動作文



浜松市子ども会連合会

掲載一覧

- | | | | |
|--------------------|-----------|----------|--------|
| ① チームで手に入れた優勝 | 増楽町 | 6年 | 野中 敦生 |
| ② ハトといっしょ | 上町 | 5年 | 小田木千秋 |
| ③ 安全マップを作って思ったこと | 小林下 | 5年 | 鈴木 楓馬 |
| ④ 楽しかったたきつぼ | 内野台四丁目 | 2年かとうはるま | |
| ⑤ かん音山のかん動ぶとん | 染地台五丁目 | 3年 | 高田 咲希 |
| ⑥ 3しまラン | 三島町 | 5年のざわそう大 | |
| ⑦ トランポリンパークでだいぼうけん | 飯田西 | 1年 | さはらなずな |
| ⑧ クリスマス会～コロナと共に～ | 赤佐四区 | 5年 | 川合 花奈 |
| ⑨ 子ども会と地域のつながり | 貴布祢七区 | 6年 | 高林 杏羽 |
| ⑩ 力を合わせて、目指せゆう勝 | 高塚南 | 5年 | 伊藤 有希 |
| ⑪ 初めての三島ラン | 三島町 | 5年 | 阿部 意 |
| ⑫ ねつ気球で朝ごはん | 佐鳴台2・3丁目 | 3年 | 藤田悠花哩 |
| ⑬ 心臓ドキドキ！気球体験 | 佐鳴台2・3丁目子 | 4年 | 浜田美心都 |
| ⑭ 楽しい熱気球 | 北寺島町 | 3年 | 須山 りさ |
| ⑮ 地区とのかかわり | 中瀬七区 | 6年 | 杉浦 きよら |
| ⑯ 初めての熱気球 | 上町 | 6年 | 鶴見 琴音 |

① チームで手に入れた優勝、そして友情

増楽子ども会 6年 野中 敦生

自分が、ドッジボール大会を通じて感じられたこと、嬉しかったことは2つあります。

一つ目は、MVPに選ばれたことです。毎年閉会式で各チームのMVP選手が一人ずつ選ばれていました。選ばれた人たちはどの試合でも活躍し、チームにも大きくこうけんしていました。そんな人にいつか自分もなりたいと心を震わせてました。その後、学校の休み時間や放課後に友達と何時間も練習しました。そして、いよいよ6年生のドッジボール大会。今まで練習してきたことを全力で出し切り、ついにMVPの場に立つことができました。MVPと呼ばれたときは緊張しましたがチームの代表として堂々と前に出ることができました。自分の目指した目標に届くことができて嬉しかったです。

二つ目は優勝したことです。自分のチームは毎年人数

が多く、二つのチームに分かれていました。しかし、今年はいさ、大会が始まると友達が、「絶対優勝しよう。」と声をかけてくれました。その言葉でみんなも同じ気持ちなんだな。と一層心が燃えました。予選では、しっかりと勝ち続けることができました。なんとか決勝まで進むことができた自分たちのチームは、すっかり緊張がほぐれ、リラックスした最高の状態で決勝を迎えることができました。対する相手は、過去何度も優勝したことがアルチームで、今年も様子を見てみると、全勝で決勝に上がってきていました。試合は五分五分で最後までドッチが勝つか分かりませんでした。みんなで協力してぎりぎり勝つことができました。そのときは、チームみんなで喜び合いました。閉会式では、優勝と書かれた賞状をも

りました。チームでみんなですべての優勝でした。

ドッジボールは、みんなで協力して戦うスポーツです。友情を深め合い、なによりも楽しむことが大事だと思います。超たのしかったです。



② ハトといっしょ

上町子ども会 5年 小田木 千秋

私は、今回初めて熱気球に乗る経けんをしました。が、とてもおもしろかったしわくわくしました。

乗る前、私は高所きようふしょうだから、こわくて乗れないんじゃないかと思っていました。でも、乗ってみ

ると意外とこわいよりも楽しかったです。なぜかという
と、上まで行くとハトの飛んでいる高さと同じ高さだ
ということを知ったからです。そこから私の学校の中
で一番高い校舎の屋上が見えたので、ハトはこんなに高
所を飛んで、いつもこんな景色を見れているんだな
と思い、ハトがうらやましくなりました。そして、その
景色を自分が見れていることにすごく不思議な気持ち
になりました。

熱気球の体験がすんだ後、気球の説明会で、またお
どろいたことが二つありました。一つ目は、いろいろな
所で熱気球のお祭りを行っていたり、他にもおもしろ
い熱気球がたくさんあるということを知れたことです。
おもしろい熱気球に乗ってみたいと思いました。二つ
目は、気球にも種類があって、熱を使わないものもあ
ることです。理科の授業で熱気球の話は習ったことが
あるので存在は知っていました。でも他の種類の気球のこ

はぜんぜん知らなかったのととてもおどろきました。

それから、気球の歴史の話の中に飛行機を作ったライ
ト兄弟の話ができました。おもしろいなと思ったので
、後で図書室に行ってライト兄弟の伝記をかりて読んで
みました。ふだんあまり本を読まないのですが、伝記が
おもしろかったので、それからいろいろな伝記を読める
ようになりました。

暑かったし短い時間でしたが、熱気球について知るこ
とができたし、なかなかできない体けんができたのです
ごくうれしかったです。



③ 安全マップを作ったこと

小林下子ども会 6年 鈴木 楓馬

ぼくは、「みんなの小林安全マップ」を作っていくつか
思ったことがあります。

一つ目は、子ども一〇番の家が少ないということだ
す。あつたとしても見にくい所に書いてあつて不審者か
らにげているときに、気づかないのではないかと思いま
した。

二つ目は、事故が起こりやすそうな場所が十一カ所も
あつたということです。その中でも特に、見通しが悪い
道路だと歩行者や自転車から自動車が見えにくいし、自
動車からも歩行者や自転車が見えにくいので見通しがいい
道路よりも気をつけてわたらないといけません。

三つ目は、安全に遊べる場所が少ないということです。
安全に遊べて、休景できる所があれば、熱くて熱中症に
なりやすい夏でも体調が悪くならないのではないかと思

いました。

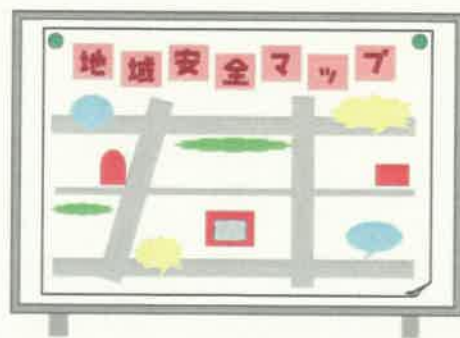
四つ目は、浜松地域遺産があったと言うことです。地域遺産というのは、地域にとって重要な物のことです。

小林西部青年会が建立した小林下道標が令和三年三月二十二日に遠州山辺の道の会という人たちが認定していました。この道標は、自分たちのためではなく旅人が迷わないようにという思いやりで作られたものらしいです。遠州山辺の道とは、この地域の古い道をたどりながら、歴史、文化、自然などを見れるように設定された道です。

ぼくは、小林下の地域に子ども一一〇番の家をもしもの時のために増やしておいてほしいと思います。それと子ども一一〇番の家の看板をもう少し大きく分かりやすくしてほしいと思います。

白線が消えてしまっているところがあるので白線を書き直しておいてほしいと思います。人が増えて安全に遊べる場所が増えて住みやすい町になってほしいと思います。

す。



④楽しかったたきつぼ

内野台四丁目子ども会 2年 かとう はるま
ぼくは、一〇月九日に、おにぎり会のかんのん山キャンプにさんかしました。

はじめに、さわ上りに行きました。さいしよに木がたくさんある森を下りました。つぎにベンチがあったので、ベンチにリックをおいておべんとうを食べました。つぎに、さわ上りをして、もくてきちのたきつぼへ行きました。

た。高いところから、たきつぽへむかってジャンプしました。スリルまんてんで楽しかったです。たきつぽへのジャンプは、二回ずつやりました。二回目のジャンプも一回目と同じでスリルまんてんでした。ぼくは、楽しかったので、二回とも一番高いところから、とびこみました。楽しかったりゆうは、高いところからジャンプしたら風が体に当たって気もちよかったです。本当は、あと五回は、とびたかったけど、時間がなくてとべませんでした。

その後は、二はんのみんなできねんしゃしんをとりました。しゃしんは、ぼくの家の子どもべやにかざっています。

さわ上りの帰りに、ジャモン岩という石をとりました。ジャモン岩は、じ石にくつつくふしぎな石です。その石は、家ぞくへの、おみやげにしました。

二日間のかんのん山キャンプは、あつという間におわ

ってしまったけど楽しかったです。らい年もさんかしたいです。



⑤ かん音山のかん動ぶとん

染地台五丁目 3年 高田 咲希

かん音山で、はじめてのキャンプをしました。さわのぼりや、ウォークラリーをした中で、一番楽しかったのは、ふとんの中で、すごしたことです。

まず、5人でシーツをとりにいき、自分たちで、ふとんをじゅんびしました。自分一人では、できないので、友だちに手つだってもらい、うれしかったです。そのふとんは、大きくて、ふわふわで、あたたかく気もちがよ

かったです。

その後、友だちと、ふとんの中で、わりばしという指を使った遊びをしたり、あしたの出来事を話し、この時に一番話しができて、楽しかったです。

その後、ねる時間になり、ふとんをかぶったら、家族の事を思い出し、さみしくなったけれど、ふとんを上げたら、新しくできた友だちとのキャンプの楽しい事がうかび、ふとんのあたたかさで、心もあたたかくなり、ねれました。ゆめの中では、キャンプで、出あった友だちと遊んでいました。夜中に目をさまし、ふとんの中で、まわりの子の様子をうかがっていたら、シーツからかきふとんがはみでていて、ねぞうがわるい子や、気もちよさそうにねている子がいました。

朝になり、目をさますと、いなかの自善が、目に入り、ぼーっと見ていたら、おじいちゃんの家を思い出し、家族の事も思い出し、少しさみしくなったけれど、きのう

のキャンプを思い出し、元気でおきました。

はじめての、サマーキャンプの夜は、いろいろな気持ちがあったけれど、たのしかったです。家では、かけふとんを使っていなかったので、帰ってからは使い毎日心があたたかくなってぐっすりねむれています。



⑥ 三しまラン

三島町子ども会 2年 のざわ そう大

ぼくは、子ども会のイベント三しまランにさんかしました。白わき小学校のグラウンドをはしりました。長きよりとたんきよりがあったので、ぼくはお兄ちゃんと同じで長きよりをえらびました。グラウンドを五しゅうは

しました。一しゅうでおかしを二しゅうもらいました。五しゅう目はさいしょにおかしをもらってつぎにおにぎりをもらいました。さいごにパンをもらいました。はしった後は、たいやきのチケットとスポーツドリンクをもらいました。もっているナップサックがおみやげでいっぱいになりました。五しゅうはしるのはつかれたけど、楽しかったです。

かえってから、かぞくみなでたいやきのチケットをもって、たいやきやさんに行きました。いつもよくとる道にたいやきやさんはありますが、行くのははじめてでした。たくさんメニューがあつたけど、ぼくは、あんこの入ったたいやきをもらいました。はじめてたべたたいやきはあまくてとてもおいしかったです。ぼくがすんでいる三しま町には、まだ知らないお店があつたんだとおもいました。

ぼくは、いつも土日は、やきゅうのれんしゅうに行き

ます。子ども会のイベントは、いつも土日だったので、さんかできませんでした。だけど、このイベントは、祝日だったのでさんかできてうれしかったです。来年も参加したいです。



⑦ トランポリンパークでだいぼうけん

いい田西子ども会一年 さはら なずな
こどもかいのえんそくで、トランポリンパークにいくとわかって、わたしは、とびはねることが好きなのでたのしみでした。はじめてトランポリンパークにきてさいしょに、すぐたのしそつだとおもった。たくさんのレストランがあつてなにであそぼうかこまっただけとて

もわくわくした。

トランポリンでとびながらバスケットボールをしたり、とびながらなわとびをした。トランポリンパークのキャラクターといっしょにトランポリンであそんだ。おみせのおにいさんが、トランポリンでたかくとんでかべにたっちしてかつこよくおりたショーをみせてくれた。あんなにたかくとべてすごいとおもった。

こどもたちになきだったところがあつてなんだろうとおもった。いってみると、たかいところからしたのスポンジまでとびこむゆうぐだった。じぶんのしんちよりたかいところからとぶのがこわかった。でも、いっしょにいたともだちがとんでいたから、じぶんもちょうせんしてみようとおもった。こわかったけどゆうきをだしてとんだ。とんでいるときにかぜがぴゅーとしてきもちよかったけどさむかった。バフっとおちた。スポンジはふわふわしてきもちよかった。

2じかんトランポリンパークであそべたのでたのしかった。たかいばしょからとぶのがこわかったけどゆきをだしてとべたことがこころにのこった。とてもたのしいなつのだいぼうけんでした。



⑧ クリスマス会くコロナと共にく

赤佐四区子ども会 5年 川合 花奈

今年は、新型コロナウイルスのえいきょうもあつて本来ならたくさんイベントがあつたはずなのにいくつかなくなつてしまいました。しかし、役員さん達が少しでも楽しいイベントを、と思つてやつとこせつとこできたのがクリスマス会でした。新型コロナウイルスのえいきよ

うで学年を別けて行いました。思うようにやれず、ビンゴ大会のみとなってしまうました。けれど、予算がたくさんあったため、景品はともごうかでした。私はコロナでもこんな楽しいことが出来るんだなとついこうふんしてしまいました。私がビンゴになるのはあとの方だったけれど、ねらっていたものがもらえたのでうれしかったです。

「あー、楽しかった。」

と何回も言ってしまうほどでした。役員さん達には、感謝しています。もちろん、一緒に手つだってくれた六年生にもです。来年にはコロナがおさまってくれないかと思いました。おさまったら、楽しかったクリスマス会がさらに楽しくなるからです。また、一緒に手伝ってくれた六年生の役割も、私達がやることになります。そのときには、しっかりできる六年生でいたいです。みんなにとって、

「すごく楽しかった。また、やりたい。」
と、思ってもらえるように私自身も、今の五年みんなもしっかりとした六年生になりたいです。



⑨ 子ども会と地域のつながり

貴布祢七区 6年 高林 杏羽

私は子供会の活動が好きです。子供会では、学校とはちがい、地域の人達とふれ合いながら活動を進めていくことができるからです。

私の子供会では、最高学年である私達六年が中心とな

って活動をするため、いろいろな行事をとてたのしみにしていました。しかし、コロナの影響で、ほとんどの行事が中止となってしまったことは、本当に残念でした。

コロナ禍の中でも実施できた子ども会行事は、「一年生を迎える会」と「資源回収」のみでした。「一年生を迎える会」では、六年生だけで企画しました。みんなで、どうすれば新一年生が楽しめるか案を出し合い、ゲームだけでなく、新一年生の緊張をほぐすための工夫を考えたり、子供会の保護者の方と一緒に、部屋のかざりを作成したりするのがとても楽しかったです。全学年が楽しむことができ、ハプニングがあっても、六年生同士で助け合って、会を進めていくことができ、良い思い出になりました。

また、「資源回収」では、六年生は公民館で資源物の積み下ろしを手伝いましたが、そこで、地域の人達に声をかけてもらったり、あいさつをし合ったりできたことが、

とても気持ちよかったです。また、高齢者の方の自宅まで資源物をとりに行った時に、お礼の言葉を言われ、少しでも地域のために役に立つ事ができたと感じ、嬉しく思いました。

普段の学校生活では、あまり地域の人達と交流がないため、子供会の活動を通して、地域の方とふれ合うことは楽しく、また、私達の住んでいる地域を知るという意味でも、とても勉強になります。今年は、コロナの影響で、子供会としての活動が少なかったですが、コロナが収束したら、また、子供会の活動を通じて、地域と交流をさかんにすることはとても大切だと思います。



⑩ 力を合わせて、目指せゆう勝

高塚南子ども会 5年 伊藤 有希

毎年みんなが楽しみにしている、字別ドッジボール大会があります。

ぼくの地区には、チームが2つあります。去年ぼくがいたチームは、最下位とひじょうにくやしい思いをしました。だから、「今年こそは、一位になりたい。」そう思いました。しかし、ぼくのチームには、六年生がいませんでした。チームの中で一番年上なのが五年生のぼくだけでした。なので、ぼくががんばるしかないと考えました。

一試合目は、なんとか勝つことができました。けれど、すぐくきんさだったので、何かアドバイスをしようと思いました。二試合目は、「あのこをねらうといいよ。」「こいうするともっとよくなるよ。」

などと、低学年の子たちにやさしく声をかけてあげまし

た。そうすると、みんな自然と話すようになり、チームワークがよくなっていき、二試合目は勝つことができました。しかし、三試合目は、相手チームが強く、なにもできず、みんなボロボロにやられてしまいました。とてもくやしい気持ちでいっぱいでした。みんな、もうだめだと、落ちこんでいました。だから、もう一度声をかけ、はげしました。気持ちを切りかえてのぞんだ最後の試合、みごと勝つことができました。

全試合が終わり、結果発表を、ドキドキしながら聞いていた。チームは、三位。ゆう勝を目指していたので、すこし、残念な気持ちになりました。しかし、あこがれていたMVPをとりました。

コロナの中でも工夫して、たのしいイベントをやってくれる、役員のお母さん達に感謝したいです。来年度は、六年生。最後のドッジボール大会、次は、もっと力を合わせて、目指せゆう勝。



⑪ 初めての三島ラン

三島町子ども会 5年 阿部 意

今、私は5年生で、1年生のころから子ども会に入っていて、いろいろなイベントに参加していたけど、三島ランは初めてだったので、どんなイベントだろうとワクワクしていました。私は走る事が大好きです。だけど、私は三島ランの2ヶ月くらい前から足をケガしていて、お医者さんから運動はしてはいけないと言われていたの
で、楽しみにしていた三島ランに出られないかもしれないな
いと心配でした。けど、前日にお医者さんから、歩くぐ
らいなら運動していいよと言われたので、参加できるこ

とになり、とってもうれしかったです。

当日、いつも通っている小学校に着くとグラウンドが、
いつもとちがい、机が置いてあったり、コーンがたくさん
あったり、おかしがいっぱい置いてあったりしていて、
いつも使っているグラウンドがちがうグラウンドだったので、
それだけでワクワクしました。グラウンドに着くと、消毒
と検温をして、その後に五年生と六年生が前に出てお手
本となり、みなでラジオ体操をしました。それから
単きよりの子と長きよりの子と分かれて走りました。私
はケガの事もあり、短きよりに申しこんでいたのでフラ
ンドを三周歩きました。お友達も一緒に歩いてくれまし
た。一周歩くことにおかしがもらえて、最後の一周は、
おかしとおにぎりとおパンももらえました。ゴールしてか
らは、ジュースとたいやきの引きかえ券ももらえました。
たいやきは私が大好きなたいやき屋さんだったので、う
れしかったです。全員が走り終わった後に、ちゅうせん

会もありました。私はあたらなかったけど、弟は、ケー
キ屋さんのおかしがあたったので家族で食べました。と
ってもおいしかったです。とっても楽しかったのでまた、
来年も参加したいです。その時は、長きよりにチャレン
ジしたいです。

⑫ ねつ気球で朝ごはん

佐鳴台2・3丁目子ども会 3年 藤田悠花哩

ねつ気球は二十五メートルプールの倍ぐらいの大きさ
で、頭の上でバーナの火がもえて、音と炎の大きさが大
きくてこわかったです。

十一月六日、土曜日にねつ気球にのりました。集合時
間に佐鳴台小学校のグラウンドに行ったら、まだねつ気球
はたたまれたままでした。ねつ気球の会社の人や大人の
人で、たたまれていた気球を少しずつ開いていきました。
気球に空気を入れ始める時、まだよこになっていたのに、
少しずつふくらんでいきました。紙ふうせんみたいでし

た。

のるじゅん番が五番目だったので、おにごっこをして
ましました。それでもじゅん番がすぐこなかったので、
ゆう具の円形タワーの上につてききゆうを見ていたら、
早く乗りたくなってきました。バスケットの中は、人が
いっぱいできゆうぎゆうでした。みつでした。

ねつ気球が上上がった時、下を見て、おちるかと思
つてこわかったです。きんちようもしました。上から見
ると、下にいる人が小さく大人も子どもも、せの高さみ
わけがつかなくなりました。下りてきて着地の時に、バ
スケットが地面についてまたもちあがったので、ころび
そうになりました。のった後にねつ気球についてのせつ
明をすぎ山さんがしてくれて、バスケットが牛の皮で
きていることを知り、「じょうぶにできているな。」と思
いました。他にも、風のえいきようで朝早くにしかとべ
ない事や、フランスに住んでいるモンゴルフィエ兄弟が

初めに作った事を知りました。アヒル、羊とにわとりが初めに乗ったそうです。

次に乗る時は、バスケットの中で朝食を食べたいです。メニューは食パンにわたあめをのせて、バーナーでやいて食べます。フライパンで目玉焼きも作って、ホットココアを飲みたいです。ふじ山のてっぺんに行つて、雪だるまを作りたいです。



⑬ 心ぞうドキドキ！気球体験☆

佐鳴台2・3丁目子ども会 4年 浜田 美心都

わたしは十一月六日、初めての気球体験をしました。

いつも走り回っていた校庭に車が四台も中に入っていた

り、大きなバスケットが中心にあり、年中から5年ほどインドの日本人学校やげん地の学校で通っていたわたしにとっては、全く見なれない光景でした。友達と気球がふくらんでいくのを見て、気球ってこんなに大きくなるんだ。すごいな。とボーツとただただ、見ていました。うき上がって、十二メートルほどまでとんだ時、十二メートルと知ったのはあとからですが、最初に知っていたら、えっ、これが十二メートル？高いなあと思いました。気球のふくらんでる部分を見ただけで、首がこれい上あがらなくなえました。それを見ていたわたしは、ぼうぜんと、でも心はとてもこうふんしていました。そしていよいよバスケットに足をふみいれる時、気球を見ていた時とは別の、わくわく感と、ときどき感のまざったこうふんにとりこまれていたと思います。気球が高くながっていくにつれ、ワクワク感がふえていき、しぜんと顔に笑みがうかんでいくのを感じました。気球がてっ

ぺんにつくころには、わたしの顔は楽しいことと、うれしいことの二つの気持ちで顔に笑顔のさくらがまんかいだったと思います。あんな広く大きい校庭も、なんだか小さくせまく見えました。ただ少しこわかったのが、頭の上のほのおが風でふき上がった自分のかみにもえうつらないか心配でかみをおさえていました。ゆっくり気球がおりる時、きょうふはなく、フワフワした不思議な感かくでした。地面におりた時、一度うくことがあったので少しびっくりしましたが、なぜか顔にまた笑みがうかびました。もしかして、人生でこれっきりかもしれない、きちような体験をすることができました。この体験を通して、気球は、見る人も乗る人も楽しめる、笑顔の元だと思いました。

⑭ 楽しい熱気球

北寺島町子ども会 3年 須山 りさ

私は、七月三〇日に竜禅寺小学校のグラウンドで熱気球

に乗りました。これは、子供会のイベントで、子供会会長ののお父さんが企画してくれました。私たちの家族は、一番初めに乗りました。熱気球は高さ二十mくらいで、さいしよに見た時は、大きさにビックリしました。熱気球に乗った時、お母さんは高さにこわがっていましたが、私はすごく楽しくて下にいる人たちにたくさん手をふりました。気球に乗るといろいろなたて物が見えました。私たちが気球に乗っている様子は、テレビや新聞にのりました。気球に乗っている時上を見たら火がボーボーと音を出しながらいきおいよく出ていて、とても熱かったです。

かたづけをする時気球の中にある空気を出して私たちがおりたたんでかたづけました。

その熱気球たいけんのさんかしょうは、オリジナルのシールと私たちが気球に乗っているファイルでした。そのファイルは、今大切に学校で使っておりジナルシール

は、ヘルメットにはついています。

コロナ禍で、いろいろなイベントなどがなくなってしまっていたので気球に乗れてうれしかったです。自分の学校で気球に友だちと乗れたことは一生の思い出になりそうです。子供会でこれからもたくさんの友だちと、また楽しいイベントをしていけたらいいと思います。私は子供会が大好きです。来年も楽しみにしています。



⑮ 地区とのかかわり

中瀬七区 6年 杉浦 きよら

今年は六年生として、子供会活動を楽しみにしていましたが、コロナのえいきょうで、楽しみにしていた活動

がほぼできなくなってしまいました。

私は転校生だったので、子供会の活動は、友達作りに役にたった楽しい思い出がありません。

私の地区には、同じ学年の女子が少なくて、わたし合わせて4人しかいませんでした。また、知っている友達が全ぜんいなくて話しかけるのがはずかしくて、ママにくっついていました。でも、近くにいた女の子が話しかけてくれました。そのこと話していくうちに仲良くなる事ができました。しかもその子がきっかけにいろんな学年の子と仲良くなることができました。それに女の子だけでなく、男の子とも仲良くできました。わたしはこの日まで、女の子は女の子と遊んで、男の子は男の子と遊ぶのがあたりまえだと思っていました。でも、そうではなくてみんなが仲良くしたほうが得だと思いました。来年は中学生です。部活とかが始まっていった地区の行事に行けなくなるかもしれないけど、いままでやった行

事の思い出やその行事でできた友達の名前や顔はわすれないようにしたいです。

今までかかわってくれたおじいさん、おばあさんなどの大人たちと交ざってやったラジオ体操にはこれからも参加していきたいので妹が小学生になってからは私もいつしよにこの地区とずっとかかわっていけたらいいなと思います。



①6 初めての高気球

上町子ども会 6年 鶴見 琴音

子ども会で高気球に乗りました。今まで、テレビや本で

高気球を見て、いつか乗ってみたいなと思っていたので、乗れると知った時からとても嬉しくワクワクしていました。

当日は朝早く集合だったので、時間通りに起きられる心配でしたが、嬉しくて朝早くに目が覚めました。学校につき、高気球が運ばれて来た時には、これで空まで上がれるのか不思議に思いましたが、空気が入り、だんだん大きくなっていく高気球を見て、実際の高気球はこんな大きいんだ!とびっくりしました。今まで遠くから高気球が飛んでいるところを見たことがありませんが、こんな近くで見たのは初めてでした。目の前にある、こんな大きな高気球がどうやって空中にういていくのか早く見てみたいなと思いました。ゴーゴーと音を立てながら、少しずつ浮いていく高気球を見ているうちに、乗るのが怖くないドキドキしてきました。しかし、母や弟たちと一緒に乗り、どんどん上に上がるにつれて怖さもなくなり楽し

くなってきました。

気球にのって、いろいろなことに気が付きました。飛んだ高さは、スズメやカラスと同じぐらいで、鳥たちはこんな高いところを飛んでいるのだなとびっくりしました。また、気賀小学校の北校舎の上には、熱をこもらせないように、石がひいてあるのも実際にみることでできてよかったです。

最後に熱気球教室をやっているいろいろな気球があることを知ることができました。一緒に参加した大人の方たちも初めて乗ったという人が多く、私は、小学生で気球に乗るという貴重な体験ができて、とても良かったと思いました。機会があれば、また、乗ってみたいと思います。

募集

子ども会体験作文の募集中です。

〒431-0211

浜松市西区舞阪町舞阪 2668-349

舞阪保健センター内

浜松市子ども会連合会事務局

Tel & fax 053-596-2878